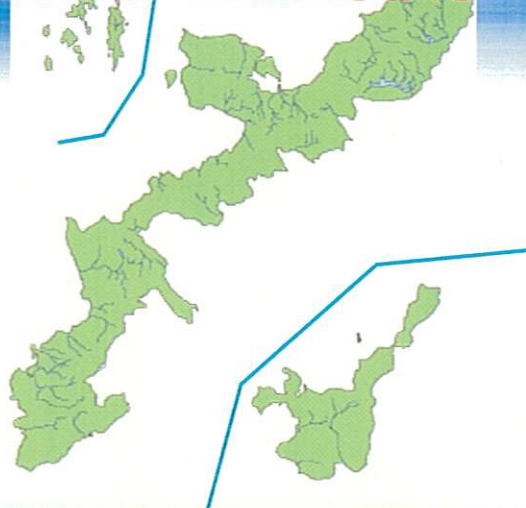




沖縄県の河川概況



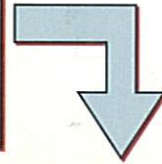
本県には、大小合わせて300余りの河川があります。

これらの河川のうち特に県民生活に重要な50水系74河川を県知事管理の二級河川、14水系22河川を市町村管理の準用河川に指定し、河川の適正な利用・流水の正常な機能保持等の管理を行っています。

平成16年度は、浸水被害等が発生している本島及び八重山地区の27の河川で補助事業を実施しています。

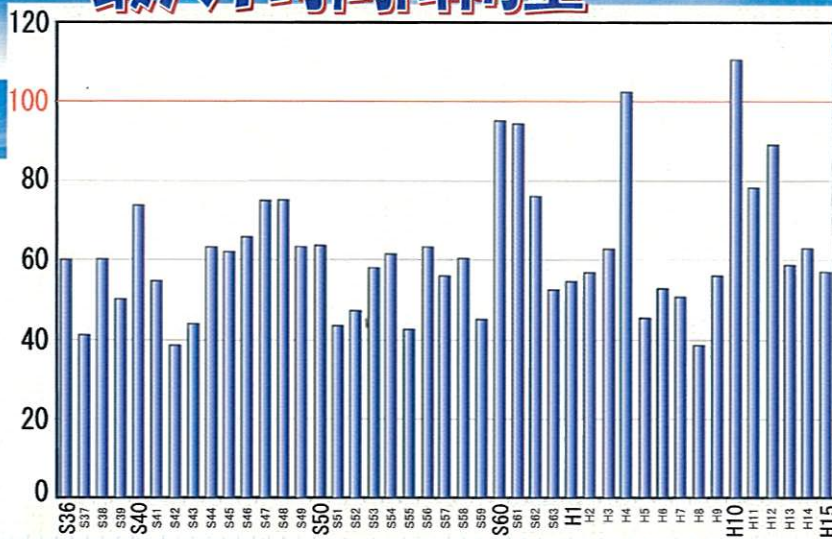
沖縄県の河川の特徴

河川延長が短い
流域面積が小さい
河床が急勾配



- 流出時間が短い
- ほとんどの河川で流出時間は1時間以内
- 急激な出水を伴いやすい
- 平常時は流量が少ない

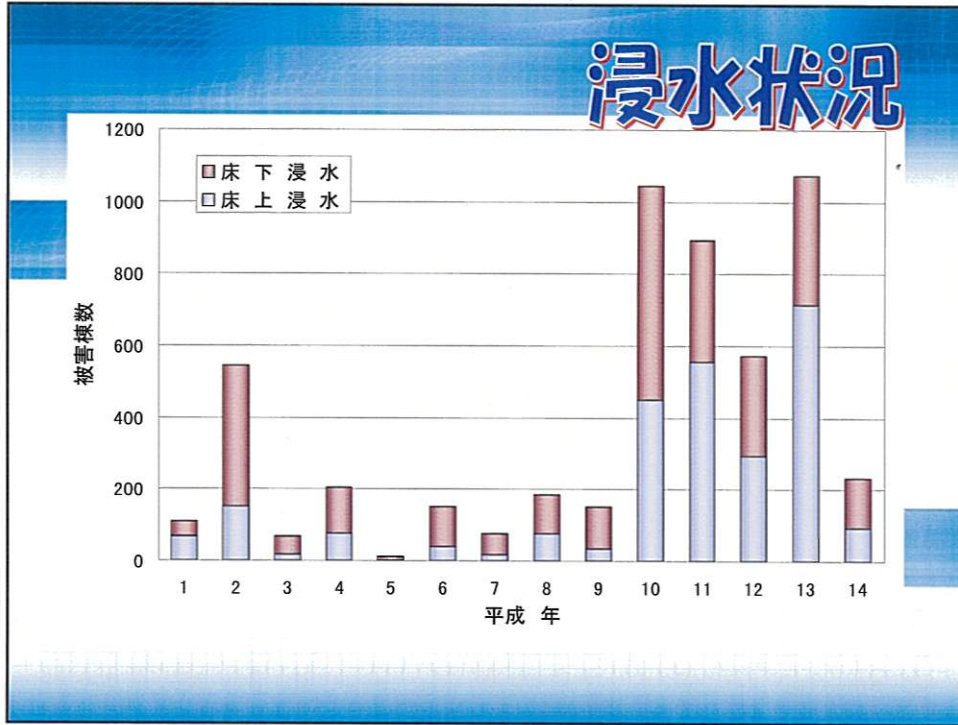
最大1時間降雨量

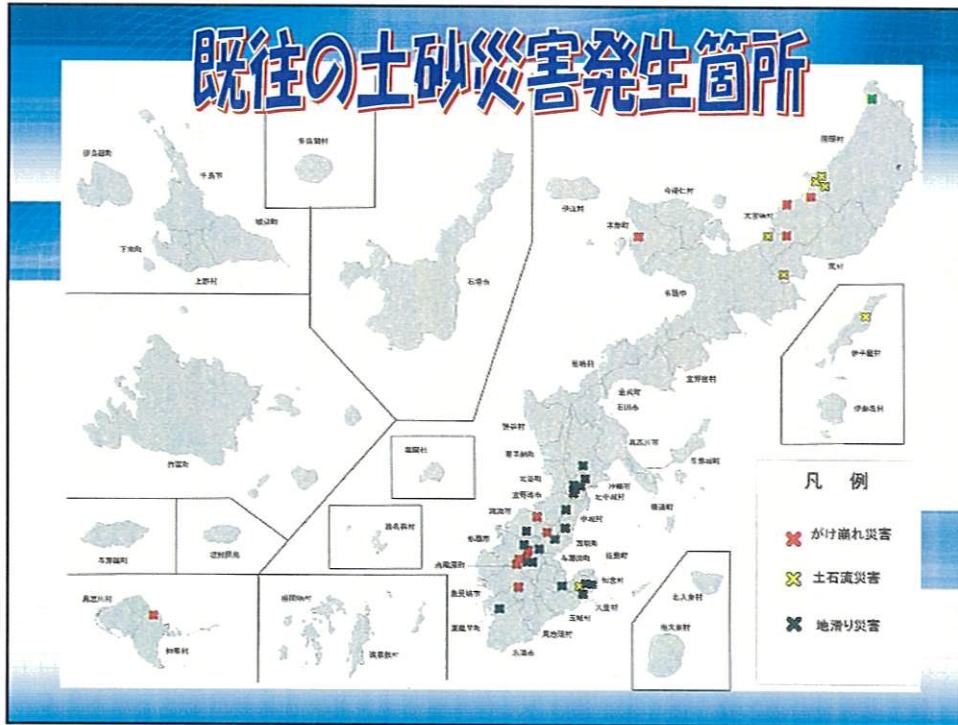












土石流災害



昭和34年シャーロット台風による大惨事
 (北部5箇所のほか南部でも土砂崩れが発生し、
 全県で死者46名)



大宜味村 津波地区で発生した土石流

地滑り災害



地滑り災害



平成10年10月

北中城村仲順

沖縄県の土砂災害危険箇所



北部直撃 129人避難



国頭半島へカシラシを吹送る台風18号。9月16日午後6時、国頭郡。

台風18号

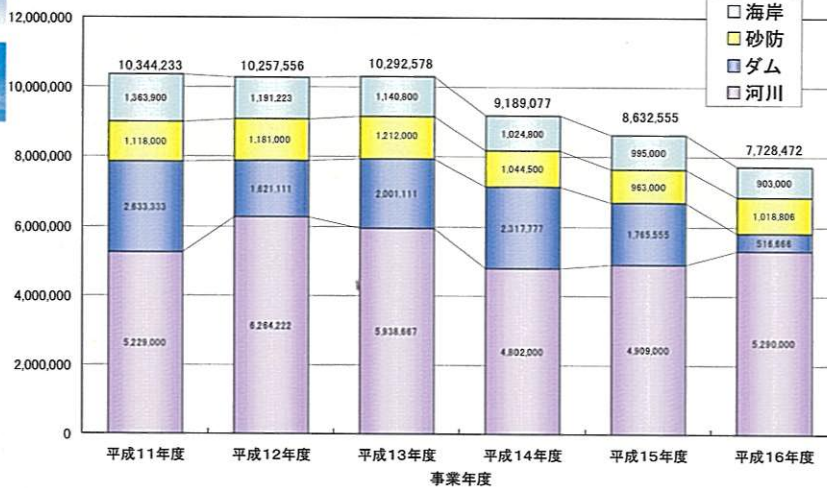
国頭で1時間110ミ
名護46.6
今夜まで暴風域

平成16年9月

海岸越波状況

事業費の推移

事業費(千円)



ハガードマップ整備状況

河川ハガードマップ : 西原町、沖縄市

土砂災害危険箇所図 : 整備済み

津波ハガードマップ : 宜野湾市等(6市町村)

高潮ハガードマップ : 北谷町、嘉手納町

緊急の課題

- ・沖縄県は台風の常襲地帯
- ・災害はいつ起きるか分からない
- ・未然に防止するためのハード・ソフトの整備
- ・予算の確保が緊急の課題